

小田井・志平遺跡発掘調査報告書

(概 報)

平成12年度 榎垣外遺跡ほか岡谷市内遺跡発掘調査報告書



長野県岡谷市教育委員会

序

岡谷市は諏訪湖盆地の北西部にあって、鉢伏山、高ボッチを背景に、横河川、塚間川が扇状地を形成しながら諏訪湖に注ぎます。諏訪湖西側は湖辺まで山塊が迫り、諏訪湖の出口である釜口水門から天竜川が流れ出ています。このような自然環境の岡谷には200箇所近くの遺跡があり、縄文時代をはじめ、弥生、古墳、奈良、平安時代など各時代にわたって多くの遺跡が存在することが知られております。

こうした歴史環境にあって、開発に伴う埋蔵文化財の調査は、毎年、多くの調査件数にのぼり、これまでに貴重な成果を記録に残し、あるいは出土品の保存に努めてまいりました。

さて、本年度の調査件数は30件を越え、多くの成果を得ることができました。ここに、平成12年度に実施した個人住宅等小規模開発に伴う試掘・確認発掘調査の概要をまとめ、「平成12年度榎垣外遺跡ほか岡谷市内遺跡発掘調査報告書(概報)」を刊行しました。埋蔵文化財の保護は土地所有者、事業者等の皆様のご理解とご協力により行われています。発掘調査で得られた成果を公開・活用することにより、これまで以上のご理解とご協力が得られるものと考え、今後この報告書が多くのみなさまに活用されることを願っております。

最後になりましたが、今年度の調査にあたり、深いご理解とご協力を頂きました土地所有者と事業者の皆様にご感謝申し上げます。また、発掘調査に携わっていただいた皆さんには炎暑、厳寒の中をご苦勞頂きお礼申し上げます。

平成13年3月

岡谷市教育委員会
教育長 北澤和男

例 言

1. 本報告書は平成12年度榎垣外遺跡ほか岡谷市内遺跡試掘・発掘調査の報告書（概報）である。
2. 事業は国の平成12年度国宝重要文化財等保存整備費補助金及び、県の平成12年度文化財保護事業補助金を受けた岡谷市教育委員会が実施した。
3. 調査は、国および県から補助金交付を受けた岡谷市教育委員会が、平成12年4月1日から、平成13年3月19日にかけて実施した。整理作業は主に12月～3月に行ったが、十分な整理が終了していないため、概要の掲載にとどめてある。
4. 出土遺物、記録図面、写真などの資料は岡谷市教育委員会が保管している。
5. 本報告書中の原稿執筆は、小田井遺跡、榎海塚遺跡を小坂英文、志平遺跡を笠原香里、櫛平遺跡を腰塚綾が行い、全体の編集・作図は事務局で行った。

目 次

序

例 言 目 次

1. 平成12年度試掘・確認発掘調査の概要	2
2. 小田井遺跡	4
3. 志平遺跡	5
4. 遺構の発見された試掘・確認調査	
(1) 榎海塚遺跡	6
(2) 櫛平遺跡	7

1. 平成12年度試掘・確認発掘調査の概要

本年度、岡谷市内の周知の遺跡において、農地転用、公共事業などの開発行為が計画・実施され、市教育委員会が対応を行った件数は30件以上にのぼり、このうち試掘・確認発掘調査は31件16遺跡に及んだ。昨年に比べると今井地区の開発が減少したのに対し、川岸、湊地区のやますそに近い個所での開発が増加している。

小田井遺跡では、調査地が以前宅地であったこともあり、攪乱層がローム層まで達しているため、良好な遺構の保存状態は望めなかった。わずかに発見された住居跡も西壁の一部とわずかな床面が残っただけであった。しかし器形復原可能な土器が攪乱を受けずに発見されたことにより、縄文時代中期後葉期の住居跡であることが判明した。

志平遺跡では比較的小さい面積の開発ではあったが、遺構密度の高い遺跡でもあり、調査の結果、縄文時代中期中葉期の住居跡が発見された。住居床面からは復原可能な土器は発見されなかったが、住居の廃絶後、ある程度住居が埋没した後に縄文時代中期中葉の土器破片が廃棄されたことを示す堆積状態の住居が発見された。

桐平遺跡は、これまで遺跡の存在が周知されてはなかったが、土砂採取作業時に幸運にも発見され、その存在が明らかとなった平安時代の遺跡である。平安時代の住居址がなぜこのような山中に築かれたのか、周辺の類例を求めるとその性格付けをするうえにおいて貴重な成果となった。

調査期間	遺跡名	所在地	調査の原因	主な遺構	遺構・遺物の時代
1 4.6、7	西除入	川岸上4丁目1238-1外	住宅建設		
2 4.6、7	西除入	川岸上二丁目1189-3	住宅建設		
3 4.10~4.12	小田井	湊三丁目3223番6	住宅建設		
4 4.13~5.16	桐平	川岸東駒沢町平地轉	土砂採集	平住1	平安
5 4.14	覆垣外(覆海戸)	長地4060-1外	県道拡張		
6 4.14	権現堂	長地字寺下4874-1	駐車場敷地		
7 5.8、9	覆垣外(小田野沙上)	長地字小田野沙上3077-4	住宅地敷地		
8 5.9	覆垣外(堀)	長地堀4343-5外	住宅建設		平安
9 5.11	新井南	湊五丁目324-1外	社員寮建設		
10 5.22	海戸	天竜町三丁目5260-1	住宅建設		
11 7.4、5	東町田中	長地486-7	住宅地敷地		縄文・平安
12 7.10	覆垣外(金山東)	長地2885-1	住宅建設		平安
13 7.21	覆垣外(鎮守東)	長地2975-5外	住宅建設		縄文・平安
14 7.12~9.29	広畑	川岸上四丁目1649外	詳細分布調査	縄住2 小壁穴1	縄文
15 8.16~8.25	小田井	湊三丁目3188-1	住宅建設	縄住1	縄文
16 8.21	西除入	川岸上四丁目1238-5外	住宅建設		
17 9.4~11.8	上屋敷	長地5198-1外	共同住宅建設		
18 9.4~9.28	志平	川岸東二丁目9921-1 (B)	住宅建設	小壁穴5	縄文
19 10.5、6	榊海塚	山下町一丁目2769-3	駐車場敷地		縄文
20 10.5、6	東町田中	長地町尻北3272-1	住宅建設		
21 10.10、11	西除入	川岸上二丁目1189-1	住宅建設		
22 10.13~10.17	覆垣外(金山東)	長地2800	工場建設		平安
23 10.16	目切	長地3711-1外	地質調査		
24 11.8~12.18	広畑	川岸上四丁目1607-6外	住宅地敷地	縄住3	縄文
25 11.4~11.15	新井南	湊五丁目410-1	住宅建設		縄文
26 12.6	覆垣外(中町)	長地3456-4	住宅建設		
27 12.11~12.18	九戸	神明町二丁目605-1外	工場建設		
28 1.16~2.8	志平	川岸東二丁目9921-7	駐車場敷地	縄住1	縄文
29 1.25~2.9	庄ノ畑	銀座二丁目6554外	集合住宅		縄文
30 2.13~	梨久保	長地清水田4455-1	墓地敷地		
31 3.1~3.16	梨久保	長地中村6385外	詳細分布調査		

第1表 平成12年度試掘 確認発掘調査一覧表



第1図 試掘・確認発掘調査地点（番号は第1表の一覧表に同じ）

2. 小田井遺跡

発掘調査の場所	岡谷市湊三丁目3188-1
発掘調査の期間	平成12年8月16日～8月25日
調査の原因	住宅建設
調査面積	7.8㎡
発見された遺構	縄文時代中期後業住居跡1棟
発見された遺物	縄文時代中期後業土器1点 打製石斧6点 不定形石器2点 凹石2点 土器片・石片1箱

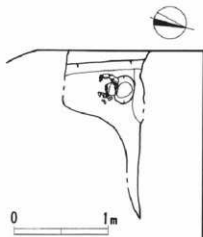
小田井遺跡は小田井沢川によって形成された扇状地上にあり、遺跡は扇尖部から扇頂部にかけて立地している。現地は、畑として使用されているが以前には建物があり、また地形を平らにするために土砂の搬入があった。このため遺構は攪乱を受けていることを予想しつつ、掘り進めを行った。その結果、攪乱層は地表下1mまで達し、地山ローム層を掘り込んでいた。しかし調査区西側のごく一部に、辛うじてローム層まで攪乱の達していない部分があり、そこから縄文時代中期後業の住居跡が発見され、第15号住居跡とした。残存していたのは、住居跡西壁の一部分で壁の長さは約80cm、高さ約7cmほどである。周溝はない。床面は全体に固く、特にタタキ面のある部分が認められるが攪乱により削られている。この時期の炉は深い掘り込みをもつ石囲炉であるので、炉の位置を推定し、攪乱を掘り抜いてその痕跡を調査したが、焼土や石囲いの石などの炉址を裏付けるようなものは発見されなかった。また柱穴も発見できなかった。

住居跡に伴う出土遺物は少なく、時期が判別できるものは、住居床面近くから出土した縄文時代中期後業期の土器だけである。

小田井遺跡は中央自動車道建設に伴い扇頂部に近い個所で発掘調査が行われ、縄文時代中期や古墳時代、平安時代などの住居跡が発見されている。今回の調査により、縄文時代中期後業住居跡が発見されたことは、縄文時代の集落の広がりを知ることで資する資料となった。



第2図 15号住居跡



第3図 15号住居跡平面図 (1:40)



第4図 15号住居跡土器出土状態



第5図 15号住居跡出土土器

3. 志平遺跡

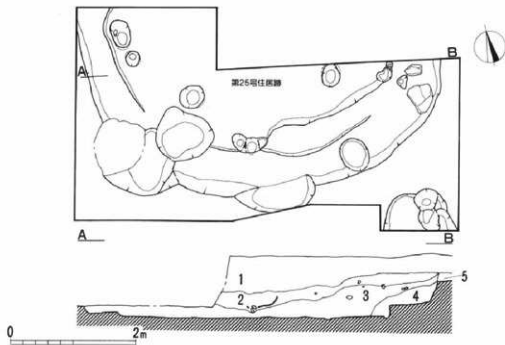
発掘調査の場所	岡谷市川岸東二丁目9921-7
発掘調査の期間	平成13年1月16日～2月8日
調査の原因	駐車場敷地
調査面積	16m ²
発見された遺構	縄文時代中期中業住居跡1棟 縄文時代中期小竪穴4基
発見された遺物	石鎌12点 石錐2点 凹石3点 打製石斧15点 磨製石斧1点



第6図 25号住居跡

今回の調査では住居の南側半分が発見され、第25号住居跡とした。住居の掘り込みは15～30cmで周溝はなく、壁の内側60cm～1mがテラス状になっており、中央の床より5～10cm程高くなっている。住居中央に近い個所の精査を行い炉の発見に努めたが、確認できなかった。住居に伴う小穴は9基発見され、そのうち柱穴はP4、P7、P9と考えられる。床面は貼り床されておらず、堅くたたきしめられていた。住居跡覆土下層からは縄文時代中期中業の土器片が出土している。

小竪穴は4基発見されたが、うち3基は出土遺物が少なくはっきりした時期は不明である。



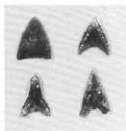
第7図 25号住居跡平面図 (1:60)



第8図 25号住居跡 土層堆積状態



第9図 25号住居跡出土土器



第10図 25号住居跡出土石鏃

4. 遺構の発見された試掘・確認調査

(1) 禅海塚遺跡

発掘調査の場所 岡谷市山下町一丁目2769-3

発掘調査の期間 平成12年10月5日～10月6日

調査の原因 駐車場敷地

調査面積 8㎡

発見された遺構 小竪穴5基

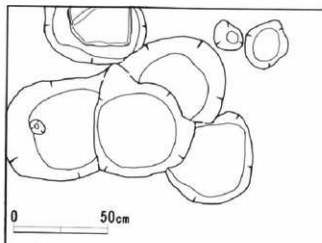
発見された遺物 切目石鏃2点 石鏃3点

土器片石片1箱



第11図 小竪穴 43～47P

禅海塚遺跡は、平成7年度に県道改良工事に伴う発掘調査が行われ、縄文時代早期・中期、古墳時代、平安時代、江戸時代の遺構が発見されている。今回の調査では、縄文時代中期と思われる小竪穴5基が発見された。出土遺物は少量の土器片であるが、耕作土中より縄文時代中期後葉の土器片や石鏃、縄文後期と思われる切目石鏃が出土した。今回の調査地から貯蔵などに用いたと思われる小竪穴が発見されたことは、集落の構成を知る上で良好な資料となった。



第12図 小竪穴 平面图 (1:20)



第13図 石鏃



第14図 切目石鏃

(2) 櫛平遺跡

発掘調査の場所 岡谷市川岸東駒沢櫛平地籍

発掘調査の期間 平成12年4月13日～5月16日

調査の原因 土砂採集

調査面積 9.3㎡

発見された遺構 平安時代住居跡1棟

発見された遺物 石鏃1点 鉄製品1点

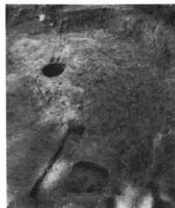
土師器坏・甕破片若干

櫛平遺跡は平成12年4月に土砂採集の際、土師器甕破片や鉄製品が出土し、岡谷市教育委員会へ届けられたため現状と詳細を確認するための調査が行われ、平安時代の住居跡が発見された。

住居跡の発見された地点は、川岸駒沢地区で中央自動車道にかかる新田橋より約600m東側の山中へ入った所にあり、海拔約920m付近に位置する。地形は北西に下る谷筋で傾斜がやや緩やかになり始めた所にあり、住居跡はその北側傾斜面から発見された。住居跡は既に以前の削平によりそのほとんどが掘削されており、住居跡の一部を調査することができたのであった。今回の土砂採集により新たに掘削された範囲は、遺物の発見が早かったことが幸いし、僅かであった。

住居跡は、住居北壁と東西の壁の一部とそれに続く床面が残っており、大きさは一辺約4.2mの隅丸方形と考えられ、住居全体の約三分の一が残されていた。住居跡の覆土は黒色土層で暗褐色土層に掘り込まれている。住居跡床面は貼り床されておらずやや軟弱な床である。柱穴と推定される穴が一基発見された。周溝はなく北壁の高さは約50cmと比較的深い掘り込みをもつ住居跡である。カマドは北壁には発見されず東壁か西壁に構築されていたのではないと思われる。

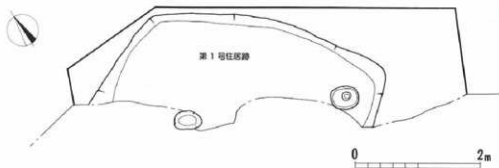
出土遺物は土師器坏破片・甕破片等20片、鉄製品1点がある。このうち黒色土器坏4点と土師器甕2点が図上復原できた。黒色土器坏（第18図中の1～4）はいずれも内面に黒色処理を施してあ



第15図 1号住居跡

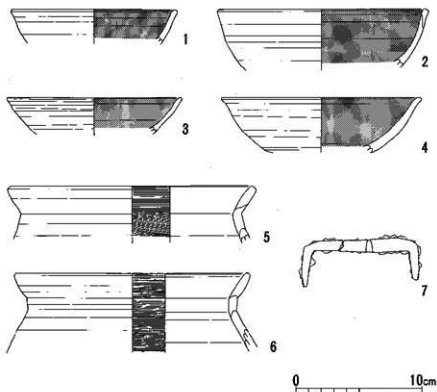


第16図 土師器片



第17図 1号住居跡 平面図 (1:60)

り、3は内外面ともに黒色処理を施している。甕は口縁部の破片から口径は約19cmで、器高が30cmほどの長胴甕であったと考えられる。7の鉄製品はカスガイであったと考えられる。出土した坏から、本址は9世紀前半から中頃に位置付けられる住居跡であろう。



第18図 出土土器実測図 (1:3)

報 告 書 抄 録

ふりがな	おたい・しびら							
書名	小田井・志平遺跡発掘調査報告書（概報）							
副書名	平成12年度榎垣外遺跡ほか岡谷市内遺跡発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	長野県岡谷市教育委員会							
編集機関	長野県岡谷市教育委員会							
所在地	〒394-8510 長野県岡谷市幸町8-1 TEL.0266-23-4811							
発行年月日	西暦 2001年3月19日							
所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
おたい 小田井	ながのけん おかやし 長野県岡谷市 みづの 湊	20204	47	36度 2分 20秒	138度 3分 49秒	20000816 ～ 20000825	7.8	住宅建設
しびら 志平	ながのけん おかやし 長野県岡谷市 かわがし 川岸	20204	32	36度 2分 41秒	138度 2分 0秒	20010116 ～ 20010208	16.0	駐車場敷地
せんかいづか 榎海塚	ながのけん おかやし 長野県岡谷市 やました 山下町	20204	154	36度 3分 52秒	138度 2分 52秒	20001005 ～ 20001006	8.0	駐車場敷地
くぬぎだいら 栢平	ながのけん おかやし 長野県岡谷市 かわがし 川岸	20204	198	36度 0分 31秒	138度 1分 18秒	20000413 ～ 20000516	9.3	土砂採集
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項
小田井	集落	縄文	縄文時代住居跡1		縄文時代土器1 打製石斧6 凹石2			
志平	集落	縄文	縄文時代住居跡1 縄文時代小竪穴4		石鎌12 石錐2 凹石3 打製石斧15 磨製石斧1			
榎海塚	集落	縄文	縄文時代小竪穴5		切目石鎌2 石鎌3			
栢平	集落	平安	平安時代住居跡1		石鎌1 鉄製品1			

